

介護予防・日常生活支援総合事業費に関する改善プログラム（概要）

部課名	いきいき生活部高齢者福祉課	評価人チームの評価結果															
目的	高齢者の介護予防の推進	総合評価	一部改善すべき	改善すべき項目	<table border="1"> <caption>評価結果の棒グラフ</caption> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>数値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>目的・指標</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>対象者</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>実施方法</td> <td>4</td> </tr> <tr> <td>周知方法</td> <td>6</td> </tr> <tr> <td>コスト</td> <td>8</td> </tr> </tbody> </table>	項目	数値	目的・指標	0	対象者	4	実施方法	4	周知方法	6	コスト	8
項目	数値																
目的・指標	0																
対象者	4																
実施方法	4																
周知方法	6																
コスト	8																
キーワード	高齢者の生きがい・健康づくり	総合意見	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防活動の継続性・持続性の観点から、個別の取り組みがどのように介護予防事業全体の成果に関連しているのかが分かる指標を設定してほしい。 ・介護予防活動への参加率向上のため、学校や民間企業と連携してほしい。また、高齢者だけでなく、高校生などの若者や介護に興味がある方、今後介護に携わる可能性がある高齢者の家族など、幅広い年齢層を対象に事業を実施してほしい。 ・より多くの方が介護予防活動に参加できるように、ちらしや広報紙での周知に加え、SNS等を活用した周知を検討するなど、周知方法を工夫してほしい。 														
キーワードに関する取り組み概要	<ul style="list-style-type: none"> ・介護予防※のための活動を続けていけるように、グループ活動の立ち上げ支援などを行う。 <p>※介護予防：介護が必要な状態になることを予防すること、介護が必要な状態になっても、維持・改善できるようにすること</p>																

評価人チームの主な意見と事業所管課の改善に向けた主な取り組み

【議論のポイント1】
介護予防活動の成果について

評価人チーム

ボランティア活動や、グループでの活動が、高齢者の介護予防や健康維持につながっているのか検証してほしい。

事業所管課

介護予防・健康づくりのための活動の効果を検証し、周知します。

(P.2参照)

【議論のポイント2】
介護予防活動への参加率向上の方法について

評価人チーム

高校生との多世代交流といった、高齢者が参加したくなるような介護予防・健康づくりのための活動を実施してほしい。

事業所管課

市内の高校や民間企業と連携し、多くの高齢者が参加したくなるような介護予防・健康づくりのための活動を新たに企画・実施します。

(P.3参照)

【議論のポイント3】
介護予防活動に関する情報発信方法について

評価人チーム

介護予防・健康づくりのための活動を知る機会が少なかった人でも情報に触れることができるよう、積極的に周知してほしい。

事業所管課

民間企業と協力して、介護予防活動に関するちらし等を各家庭に配布します。また、町田駅前のデジタルサイネージを活用することにより、より多くの方の目に触れる機会をつくります。

(P.4参照)

【議論のポイント1】介護予防活動の成果について

評価人チーム
の意見

介護予防活動の継続性・持続性の観点から、個別の取り組みがどのように介護予防事業全体の成果に関連しているのかが分かる指標を設定してほしい。
（改善すべき項目：目標・指標）

<評価人からの提案>

- ・継続性、持続性の観点から、どの事業に力を入れていくかなど、事業の選択と集中が重要であるため、個別の取り組みについて成果指標を設定し、成果を確認することが必要なのではないか。
- ・成果運動型の事業実施方法である、ソーシャル・インパクト・ボンドの手法などを参考に、目標を設定するとよいのではないか。

事業所管課の
改善の方向性

- ・介護予防を目的に実施している事業について、その効果が確認できる指標を設定する。

No	事業所管課の 改善に向けた具体的な取り組み	目標			実施結果		
		指標	現状値 (時点)	目標値 (時点)	実績値 (時点)	取り組み内容 (2023年度)	取り組み内容 (2024年度)
①	<p>【ボランティア活動が介護予防に効果があることを確認する指標の設定】 「いきいきポイント事業」※などのボランティア活動への参加が介護予防に効果があることを検証するため、それを測る指標を設定し、検証の結果を周知する。</p> <p>※いきいきポイント事業：市内の福祉施設等でボランティアを行うことにより、付与されるポイントが商品券などと交換でき、社会参加を促す事業</p>	ボランティア活動に関する指標の設定	－ (2023年3月)	設定 (2024年3月)	設定 (2024年3月) 【改善済み】	<p>2022年度に実施した「健康とくらしの調査」の結果をもとに、ボランティア活動参加者と非参加者の3年後のフレイルリスク割合を指標として設定した。</p> <p>ボランティア活動参加者は、非参加者と比べてフレイルリスクが低い結果となったことを市ホームページに掲載し、ボランティア活動への参加が介護予防に効果があることを周知した。</p>	
②	<p>【町トレが介護予防活動に効果があることを確認する指標の設定】 自主グループ活動※1の一つである「町トレ」※2が、介護予防に効果があることを検証するため、それを測る指標を設定し、検証の結果を周知する。</p> <p>※1 自主グループ活動：介護予防・健康づくりのための趣味や運動を自主的に行うグループ活動 ※2 町トレ：町田市と理学療法士などのリハビリテーション専門職とが協働して作成した市オリジナルの筋力トレーニング</p>	町トレに関する指標の設定	－ (2023年3月)	設定 (2023年9月)	設定 (2024年3月) 【改善済み】	<p>「町トレ」に継続して参加している方について、初回と1年後の体力測定結果を指標として設定した。</p> <p>「町トレ」参加者の1年後の数値が向上しているという結果を市ホームページに掲載し、「町トレ」が介護予防に効果があることを周知した。</p>	

【議論のポイント2】介護予防活動への参加率向上の方法について

評価人チームの意見

介護予防活動への参加率向上のため、学校や民間企業と連携してほしい。また、高齢者だけでなく、高校生などの若者や介護に興味がある方、今後介護に携わる可能性がある高齢者の家族など、幅広い年齢層を対象に事業を実施してほしい。
 （改善すべき項目：対象者/実施方法）

<評価人からの提案>

- ・事業の対象者を高齢者に限定しているイメージがあるため、高校生などの若者や介護に興味がある方、今後介護に携わる可能性がある高齢者の家族など、幅広い年齢層が定期的・継続的に介護予防活動に参加できるような企画を検討する必要があるのではないかと。
- ・新規の参加者を増やすために、自主グループ活動を「運動系」「文化系」など種別ごとに分類することや、オンラインによる参加ができるようにすることなどにより、誰もが参加しやすい環境をつくる必要があるのではないかと。
- ・教育機関等と連携し、多世代交流がより進められるような取り組みを検討するとよいのではないかと。

事業所管課の改善の方向性

- ・介護予防活動の参加率向上のため、教育機関や民間企業と連携した取り組みを検討する。

No	事業所管課の改善に向けた具体的な取り組み	目標			実施結果		
		指標	現状値 (時点)	目標値 (時点)	実績値 (時点)	取り組み内容 (2023年度)	取り組み内容 (2024年度)
①	【高校との連携による介護予防活動の実施】 多世代交流を通じて、幅広い年齢層が介護予防活動に参加できるよう、介護予防・健康づくりのための活動を市内の高校生と協働で企画し、実施する。	高校生と企画・実施した介護予防活動の回数	0回 (2023年3月)	3回 (2024年3月)	5回 (2024年3月) 【改善済み】	高齢者支援センターで行っているスマホの使い方教室において、高校生や大学生が企画段階から参加し、高齢者にスマホの使い方やおすすめアプリを教えるなどの交流を行った。また、高齢者支援センターが行うオンライン交流会で、高校生が考えたダンスを高齢者が踊ったり、認知症カフェのボランティアとして高校生が参加するなど、学生と協働で介護予防活動に取り組んだ。	
②	【民間企業との連携による介護予防活動の実施】 今まで介護予防・健康づくりのための活動に参加したことのなかった方にも参加してもらうため、高齢者の介護予防・健康づくりのための活動を、市内の民間企業と協働で企画し、実施する。	民間企業と企画・実施した介護予防活動の回数	0回 (2023年3月)	3回 (2024年3月)	5回 (2023年11月) 【改善済み】	包括連携協定を締結している市内のスポーツクラブと連携し、高齢者向けのスポーツ教室を1回（8日間）実施した。 また、生命保険会社との包括連携協定でのつながりを生かし、フレイルチェック会で実施する身体機能測定を、健診や測定のノウハウのある関連企業に委託し、4回実施した。	

【議論のポイント3】介護予防活動に関する情報発信方法について

評価人チームの意見

より多くの方が介護予防活動に参加できるように、ちらしや広報紙での周知に加え、SNS等を活用した周知を検討するなど、周知方法を工夫してほしい。
 （改善すべき項目：周知方法）

<評価人からの提案>

- ・自主グループ活動に参加するメリットや、気軽に参加ができることをPRする必要があるのではないかな。
- ・高齢者以外にも介護予防活動に関する周知をする必要があるのではないかな。
- ・通勤・通学中に目に付く場所に介護予防活動に関するポスターを貼ることや、学校等にもちらしを配布することを検討するとよいのではないかな。
- ・介護予防活動への参加率向上のために、広報紙やちらしだけでなく、SNS等を活用するなど情報発信の方法を工夫する必要があるのではないかな。

事業所管課の改善の方向性

・介護予防活動について、ちらしや広報誌だけではなく、より多くの方の目に留まり、関心を持ってもらえるような周知方法を検討する。

No	事業所管課の改善に向けた具体的な取り組み	目標			実施結果		
		指標	現状値(時点)	目標値(時点)	実績値(時点)	取り組み内容(2023年度)	取り組み内容(2024年度)
①	<p>【民間企業との連携による介護予防活動の周知】</p> <p>より効果的に介護予防活動に関する周知を行うため、包括連携協定*を締結している生命保険会社などの民間企業と連携し、活動に関するちらしの配布等を行う。</p> <p><small>*包括連携協定：民間企業ならではの資源やノウハウを活用して、子育て支援や文化及びスポーツ振興などの様々な分野において連携し、地域の魅力向上や市民サービスの向上に取り組むための協定</small></p>	連携して周知を行った民間企業の数	0社 (2023年3月)	5社 (2024年3月)	0社 (2024年3月) 【改善進行中】	包括連携協定を締結している生命保険会社のうち、2社と連携に向けて調整を開始したが、配布するチラシの内容や配布方法などの調整に時間を要したため、実施には至らなかった。今後は、他の民間企業への声掛けを行うと共に、引き続き、周知に向けた具体的な調整を進める。	
②	<p>【様々な年齢層に向けた介護予防活動の周知】</p> <p>高齢者以外の方にも広く介護予防活動を周知するため、ポスターの掲示に加え、町田駅前のデジタルサイネージを活用するなど、より多くの方の目に触れる機会をつくる。</p>	新たな場所での周知箇所数	0か所 (2022年11月)	2か所 (2023年3月)	3か所 (2023年5月) 【改善済み】	2023年3月までに、2か所（町田駅の連絡通路及び駅直結の商業施設）、2023年5月に1か所（町田駅近隣のビル）において、デジタルサイネージによる介護予防の運動メニューなどの周知を行った。	
③	<p>【通いの場の情報周知】</p> <p>通いの場*1の情報をより多くの方が手軽に手に入れることができるようにするため、「介護サービス情報公表システム」*2の「交流の場・通いの場」で検索可能な団体情報を更新し、町田市全域の情報を掲載する。</p> <p><small>*1 通いの場：自主グループのほか、老人クラブなど市が把握している活動の場 *2 介護サービス情報公表システム：厚生労働省が運営する全国の市区町村の介護情報が検索できるサービス</small></p>	「介護サービス情報公表システム」に登録している地域数(累計)	10地域 (2022年11月)	12地域 (2023年3月)	12地域 (2023年12月) 【改善済み】	2023年3月までに、厚生労働省が運営する「介護サービス情報公表システム」に市内全域（12地域）の通いの場等の情報を掲載した。また、2023年12月には、高齢者の通いの場や生活に役立つ情報を、地図上や特定の条件から検索できる町田市独自のウェブサイト「社会資源検索システム【マチナビ】」の運用を開始し、より多くの情報の中から知りたい情報を手軽に得ることができるようにした。	